

## 8. 環境教育

### (1) ゾウ糞エコサイクル事業

動物の糞から作った堆肥で野菜を栽培し、動物に給餌することにより、自然界での循環を自らの体験を通して学ぶ。

八木山小学校5年生85名	6月6日 ゾウについての授業後、ゾウ糞堆肥
	7月11日 ゾウについて復習後、野生でのゾウの暮らしについて授業、エコサイクルゲーム
	9月12日 ゾウにニンジンをプレゼント
明成高等学校1年生8名	6月22日 ゾウ糞堆肥を混ぜた土にかぼちゃの種まき、ゾウ糞をコンポストに投入 ゾウの野生での暮らしやエコサイクルについて授業
	11月3日 ゾウにかぼちゃをプレゼント

### (2) 現職学校教員への研修（宮城教育大学連携事業）

- 8月6日：教員免許状更新講習「ふれあい館を中心とした動物園の活用方法」(幼稚園・小学校教諭)
- 7月30日：教員免許状更新講習「理科の授業で利用できる動物園学習」(中学理科・高校生物教諭)

### (3) メダカの増殖保全事業（宮城教育大学連携事業）

宮城教育大学が東日本大震災の津波被害を受けた仙台市沿岸部のメダカを保護し、有志市民の里親と協力してメダカを増やし、元の場所へ還元させようとする保全事業。

- 5月26日：八木山動物公園でメダカの里親募集イベント「メダカを育てよう！」を開催
- 11月24日：八木山動物公園でメダカの里親交流集会を開催

★H30年度までの実績：里親276組（うち学校6校、他施設4）



動物園での授業の様子

動物園での授業の様子



メダカの増殖保全事業 里親交流会の様子